



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年1月30日 東

上場会社名 アルビス株式会社 上場取引所
 コード番号 7475 URL <https://www.albis.co.jp>
 代表者(役職名) 代表取締役社長(氏名) 池田 和男
 問合せ先責任者(役職名) 執行役員 管理本部長(氏名) 藤井 秀亮 (TEL) 0766-56-7200
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第3四半期	76,544	3.3	1,621	△1.2	1,818	△11.7	1,045	△20.5
2025年3月期第3四半期	74,069	0.3	1,640	△10.8	2,060	△9.1	1,313	△10.4

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 1,382百万円(6.9%) 2025年3月期第3四半期 1,292百万円(△16.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第3四半期	124.19	—
2025年3月期第3四半期	151.84	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第3四半期	57,803	32,488	56.2	3,888.40
2025年3月期	52,890	32,322	61.1	3,768.75

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 32,488百万円 2025年3月期 32,322百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	35.00	—	35.00	70.00
2026年3月期	—	35.00	—		
2026年3月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	102,084	4.0	2,258	9.4	2,813	8.0	1,630	0.5	190.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期3Q	9,255,926株	2025年3月期	9,255,926株
② 期末自己株式数	2026年3月期3Q	900,617株	2025年3月期	679,383株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期3Q	8,414,887株	2025年3月期3Q	8,652,233株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(会計上の見積りの変更)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、インバウンド需要の継続的な拡大等により景気は緩やかな回復基調にありますが、原材料価格・電気料等の高留まりや物価上昇に伴う消費支出の低迷、米国の通商政策による世界経済への影響等、先行き不透明な状況が続いております。

食品小売業界におきましては、継続する物価高の影響から消費者の節約志向がさらに強まっていることに加え、業種業態を超えた競争の激化や人件費の上昇、電気料・物流費の高留まり等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような状況の中、当社グループは「食を通じて地域の皆様の健康で豊かな生活に貢献します」の企業理念のもと、前期より3年間（第58期～第60期）のビジョンを示した第四次中期経営計画を進めております。

第四次中期経営計画では「私のお店と言ってもらえるアルビスファンを増やす」を経営方針とし、「お客さまを笑顔にする商品の提供」「お客さまが楽しく快適に買い物できる店づくり」「働きがい、やりがいを感じられる職場環境の実現」「持続的な成長に向けた業務基盤の強化」「事業を通じた地域社会の課題解決」の5つを重点施策として、以下のとおり取り組んでおります。

「お客さまを笑顔にする商品の提供」については、多様化するお客さまニーズに応えるため、健康志向商品や簡便即食商品を拡充するとともに、名物商品などの高付加価値商品の開発を推進しております。また、お客さまの節約志向に応えるため、PB商品の拡大や300品目をお値打ち価格で提供する食卓応援企画などを継続して実施するとともに、2025年6月より、各自治体の子育て応援企画と連携した施策「ハピマル」として、毎週土・日曜日にお買い物金額から5%を割引くサービスをスタートしております。

「お客さまが楽しく快適に買い物できる店づくり」については、店舗運営の標準化により顧客満足度の向上を図るとともに、最新MDを導入した店舗改装を順次実行しております。また、お客さまのライフスタイルの変化や多様なニーズに応えるため、当社の基本的な営業時間の見直しを行うとともに、8月には、公式ECサイト「albisオンラインショップ」を開設しております。店舗投資については、10月に「太閤山店」（旧パスコ店 富山県射水市）を建替えオープンし、11月に「呉羽本郷店」（富山県富山市）を改装オープン、2026年1月には「丸の内店」（富山県高岡市）を小商圈戦略店舗「アルビスくらす」として改装オープンいたします。

「持続的な成長に向けた業務基盤の強化」については、店舗運営の標準化や電子棚札（ESL）の導入等により店舗の生産性の向上を図るとともに、プロセスセンターにおいては継続的な原価改善と品質向上に努めております。また、11月に海産プロセスセンターを新たに稼働しており、同センターではお客さまのニーズの高い魚惣菜の製造や魚の一次加工等を行い、店舗での品揃えの安定や店舗作業の効率化に取り組んでおります。

「事業を通じた地域社会の課題解決」については、地域行政との連携を通じて様々な課題解決に取り組んでおります。食品ロス削減への取り組みとして、リレーフードドライブ活動の実施や無人フードドライブボックスの設置に継続して取り組んでおります。お客さまに安心してお買い物いただけるお買い物支援と地域の見守りに取り組む「移動スーパー」は、2025年12月末現在24台で運行しております。

2050年の脱炭素社会実現の一環として、温室効果ガス（GHG）の削減に向けた取り組みやSDGs目標達成へ向けた環境保全への活動を「albis Green Action」と総称し取り組んでおります。店舗では、トレー・ペットボトル回収などのリサイクル活動に加え、今期新たに太陽光パネルを8店舗に設置するなど再生可能エネルギーの利用を拡大しております。また、食品廃棄量の削減に向け、従来の消滅型生ごみ処理機に加え、循環型の生ごみ処理機を導入するなど、サステナブルな生活提案と環境負荷低減を推進しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間（2025年4月～12月）は、前期新店1店舗（北方店）や建替え新店3店舗（婦中速星店、大広田店、太閤山店）等の効果もあり、営業収益76,544百万円（前年同期比3.3%増）となりました。利益面では、高利益商品やPB商品等の販売拡大とプロセスセンターの原価改善に努めたものの、競争対応による粗利率の低下や急激な相場変動等の影響に加え、11月より稼働した海産プロセスセンターにおいて、店舗からの生産移行計画に遅れが生じたことなどにより、売上総利益率は前年同期と同水準となりました。また、賃金増など人的資本への投資に加え、前期新店・建替え新店等の店舗投資に係る減価償却費が増加した影響等により、営業利益1,621百万円（前年同期比1.2%減）、経常利益1,818百万円（前年同期比11.7%減）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は1,045百万円（前年同期比20.5%減）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ4,913百万円増加し、57,803百万円となりました。

この主な要因は現金及び預金の減少額630百万円、売掛金の増加額922百万円、商品の増加額282百万円、原材料及び貯蔵品の増加額247百万円、建物及び構築物（純額）の増加額3,706百万円、その他の有形固定資産（純額）の減少額502百万円、土地の増加額824百万円等によるものであります。

（負債）

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ4,747百万円増加し、25,314百万円となりました。

この主な要因は買掛金の増加額1,921百万円、1年内返済予定の長期借入金の増加額841百万円、未払法人税等の減少額337百万円、賞与引当金の減少額307百万円、その他の流動負債の増加額355百万円、長期借入金の増加額2,211百万円等によるものであります。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ165百万円増加し、32,488百万円となりました。

この主な要因は利益剰余金の増加額491百万円、自己株式の増加額664百万円、その他有価証券評価差額金の増加額337百万円によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年3月期の通期の連結業績につきましては、2025年4月30日に「2025年3月期決算短信」で公表しました内容に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,218	5,588
売掛金	2,821	3,743
商品	2,614	2,896
原材料及び貯蔵品	219	467
その他	2,877	2,843
貸倒引当金	△77	△142
流動資産合計	14,674	15,396
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	16,856	20,563
土地	11,357	12,181
その他（純額）	4,098	3,595
有形固定資産合計	32,313	36,340
無形固定資産		
その他	897	947
無形固定資産合計	897	947
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,420	3,358
その他	1,805	1,916
貸倒引当金	△221	△157
投資その他の資産合計	5,004	5,118
固定資産合計	38,215	42,406
資産合計	52,890	57,803
負債の部		
流動負債		
買掛金	5,546	7,468
1年内返済予定の長期借入金	1,919	2,760
未払法人税等	460	122
賞与引当金	633	326
その他	4,642	4,998
流動負債合計	13,202	15,676
固定負債		
長期借入金	4,650	6,861
受入敷金保証金	638	732
資産除去債務	882	889
その他	1,193	1,154
固定負債合計	7,364	9,638
負債合計	20,567	25,314

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,908	4,908
資本剰余金	5,633	5,634
利益剰余金	23,174	23,666
自己株式	△1,669	△2,333
株主資本合計	32,047	31,876
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	275	612
その他の包括利益累計額合計	275	612
純資産合計	32,322	32,488
負債純資産合計	52,890	57,803

（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	73,302	75,728
売上原価	50,963	52,660
売上総利益	22,338	23,068
不動産賃貸収入	767	815
営業総利益	23,105	23,884
販売費及び一般管理費	21,465	22,262
営業利益	1,640	1,621
営業外収益		
受取利息	8	21
受取配当金	20	24
受取手数料	29	36
受取販売奨励金	154	—
その他	293	234
営業外収益合計	505	315
営業外費用		
支払利息	27	72
出向者給与	43	39
その他	15	7
営業外費用合計	85	119
経常利益	2,060	1,818
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産除却損	43	240
特別損失合計	43	240
税金等調整前四半期純利益	2,016	1,585
法人税、住民税及び事業税	465	336
法人税等調整額	236	204
法人税等合計	702	540
四半期純利益	1,313	1,045
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,313	1,045

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,313	1,045
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△20	337
その他の包括利益合計	△20	337
四半期包括利益	1,292	1,382
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,292	1,382
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当する事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当する事項はありません。

（会計方針の変更）

該当する事項はありません。

（会計上の見積りの変更）

該当する事項はありません。

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）

当社グループは、全セグメントに占める「スーパーマーケット事業」の割合が高く、開示情報としての重要性が乏しいことから、セグメント情報の記載を省略しております。

（キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年12月31日）
減価償却費	1,692百万円	1,956百万円
のれん償却額	2	—